

大河ドラマ「豊臣兄弟！」放送を契機とした誘客プロモーションの 方向性及びターゲット

1 プロモーションの方向性

- (1) 大河ドラマ放送をきっかけとした来訪者の市内周遊の促進及び街並み・商店・郡山城のファンの獲得、さらには放送後の再来訪につながるプロモーションを実施すること。
- (2) 来訪者に対して十分な数の駐車場はなく、多数の一方通行があり道幅が狭いといった地域特有の交通事情が存在する一方で、郡山城、展示拠点には、近畿日本鉄道橿原線の郡山駅、JR 西日本大和路線の郡山駅（奈良県）の2カ所の駅から徒歩でアクセスできるといった利点がある。公共交通機関を利用した来訪につなげるプロモーションを実施すること。
- (3) (2) と併せて、「豊臣秀長の時代の町割りが残る大和郡山市を歩いて魅力を感じられる」というPRで、歩いて市内を周遊したくなるようなプロモーションを実施すること。

2 プロモーションのターゲット

歴史的な街並み、居住エリア、商業エリアが混在する多様性も当市の魅力のひとつであり、「有名観光地」とは違ったポジションで、何度も訪れたい魅力を提供できるエリアとしてPRしたい。

(1) 誘客につなげたい層

- ①街歩きが好きだが当市を行き先として検討していない層
- ②奈良県内への日帰り旅行を検討しているが行き先が決まっていない層（奈良市内、大阪府内、京都府内での宿泊者を含む）
- ③歴史や大河ドラマに興味関心がある層

(3) エリア

展示拠点、郡山城の最寄り駅は、近畿日本鉄道橿原線の郡山駅、JR 西日本大和路線の郡山駅（奈良県）である。阪神なんば線が神戸三宮駅を起点とし、近畿日本鉄道奈良線への乗り入れていること、JR 西日本大和路線が大阪方面からアクセスがよいこと、また、近畿日本鉄道橿原線にて京都方面からのアクセスがよいことを背景に大阪府、兵庫県、京都府からの来客を見込む。また、近畿日本鉄道橿原線の大和八木駅が東海エリアとの結節点であることから三重県、愛知県からの来客にも期待する。他の豊臣秀長ゆかりの地からの周遊も想定し、以下をターゲットエリアとする。

- ・関西圏：奈良県、大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県
- ・東海圏：愛知県、三重県